

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和元年9月発行 115-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail：honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

新居浜で夏休みに「お手玉教室」

12 放課後児童クラブの 582 人が受講



新居浜市では、今年も、夏休みに放課後児童クラブを対象に「お手玉教室」を、市内の6小学校と2児童センターの12クラブで行い、582人の生徒が受講。受講者には市から2個ずつお手玉がプレゼントされました。講師は、日本のお手玉の会の新居浜支部と新居浜高専奇術部支部が担当しました。

教室では、4千年前が起源とされるお手玉の歴史や、遊び方は現在まで変わることなく世界各国で継

承されていることを話しました。これには、小学生のみなさんは、驚きの表情で聞き入っていました。

そのお手玉遊びが、いま脳科学者の間で脳の活性化に役立つことが科学的に証明され、医学、教育、福祉など広い分野で注目されていることも伝えました。

さらに、2個で行うお手玉遊びで脳の働きを高め、成績がよくなり、忘れ物がなくなり、姿勢もよくなる効果があるとの話に、目を輝かせていました。

また、脳科学者が、「スマホやゲームのやり過ぎは、脳の働きを鈍らせ、成績の低下につながると指摘している。それを改善するには、スマホやゲームの時間を減らすとか、お手玉をするとよい」といっているという話に、興味を持った様子でした。

話のあと、お手玉2個を使った「お手玉体操」を体験しました。両手に持ったお手玉を同時に上に上げる(同じ高さになるように)。両手の親指と人差し指でお手玉をつまみ、つまみ直しながらかお手玉を送っていく。両手2個ゆりを利き手からと、利き手でない方からの逆回しをする。

これを歌を歌いながら繰り返すことで、脳の働きが増すことを、ひとつひとつの動作を確認しながら体験しました。そして、「失敗しても大丈夫、一所懸命に行うことが大切。上手下手は関係なく、努力していることは正しく脳に伝わる」との説明に納得し、笑顔でお手玉体操にと取り組みました。

後日届いた手紙には、「お手玉体操をつづけ、成績をよくしたい」「忘れ物をしないようになりたい」などと書かれていました。(写真：真剣にお手玉体操に励む(左)。お礼に踊ってくれた楽しいパプリカ(右))

